

出産自己決定のための「能力リスト図」作成ワークショップ(対面)の進行

	NO	開始時間			内容
		時	分	秒	
教師 主導型 問答 時間	1	00	00	00	西村教授:2006年6月27日、学習情報提供相談
	2	00	00	12	学習相談員のプログラムができましたね。もちろん、できたといっても形としてはこれで良いのかと思うかも知れないけど、これはもうできたも同然で、エクセルきちんと打てばりっぱなカリキュラムになると思います。
	3	00	00	32	立派だと言うのは、どう立派かと言うと、最終的にできたのがこれで、さらにエクセルで綺麗にすると、1回目はこれ、2回目はこれってなってますが、意図が、教育目標というのが全部決まっています、しかもその能力が身につけさせるよというね。できないかも知れないけど、失敗するかも知れないけど、失敗したら来年直せるわけですね。
	4	00	01	03	なぜならば、こういう能力を身につけるとい、そういうことがはっきりしているからです。
	5	00	01	09	例えば、最初のマル1の1番、最初にやるロールプレイ、相談者の目線で物事を見るという、こういうロールプレイをやりますよね。
	6	00	01	23	それは、1というのを前のをひくと、これの到達目標というのは、相談者の目線で物事を見るは、まだ貼り付けていないかな。
	7	00	01	58	相談ロールプレイ、これ貼り付け、まだでしたね。
	8	00	02	12	相談者の目線で物事を見るでこの能力、よりよい人への頼り方でこの能力と付けていけないといけないんだね。それをやって完成ですね。
	9	00	02	29	今回は次に行きたいので、前から言っている、出産自己決定支援相談をやりたいので、次に行きますが、本来ならどうすればいいかという、それぞれについてプログラムを作りますね。第1回から第17回までのね。
	10	00	02	53	それぞれについて、この回はこういう能力を身につける、この回はこういう能力を身につけるといことを示して、可能であれば参加者にも示すわけ
	11	00	03	08	もし、これが不十分であれば、途中でも、講座の途中でも言うてください。来年のさらに良い講座のために役立てたいと思いますというようなことを言って、参加者からも評価をいただき、また自分自身も点検をして、どれだけ効果的な能力を身につけるのに効果的だったかというふうに点検をでき
	12	00	03	36	相談ロールプレイは1-1、3-2、6-4、4-2ですから、これを、4つをそれぞれ振り分けて、もちろん1の相談者の目線で物事を見るという、よりよい人の頼り方で、共通にできるものもあるわけですが、共通に到達できる能力もあるわけですが、それをやると、先週言ったと思いますが、その講師とかが無責任になる、あくまでも講師をお願いするときには、あなたの回でこの能力は身につけさせてくださいというようなことで、講師も一生懸命能力を到達できるように2時間のプログラムを組んでくると、こういうふう
	13	00	04	29	ということで、プログラム作成は今回は省略と、こういうふうにしたいと思います。それでは、よろしいでしょうか。学習相談員の能力をクドバスで能力リストを作って、それを科目に落とすとこういうふうになると、能力リストから拾って行って、これとこれができるなら、この科目。
	14	00	04	57	で、その科目ごとに能力を見て、これとこれというふうに一つひとつのコマもこういうふうにしたわけですね。
	15	00	05	07	朗読劇とか、面白い個性的なアイデアも出て、個性もあるし、でも共通の能力獲得もできると、こういうふうにくドバスを使った効果というのがみなさんにも感じられたのではないかと思います。
	16	00	05	26	いいでしょうかね。次にいって。
	17	00	05	29	じゃ、次に行こう。自らの問題として考えていただけたらと思いますが、もしあなたが子どもを産もうとするならば、どういう情報が必要かと。
	18	00	05	45	今まで子育て支援では、子どもを産んだ後、特に小さい子を持っている若いお母さん、ひとりで孤立して子育てをされていて、そういう人たちに手を差し伸べようというようなことが中心でした。

19	00	06	06	あるいは、そうでない場合は、少子高齢化社会の中ではもっと子どもを産んで欲しいということで、国や自治体の側はいろいろ補助金を出すから若い人が自分のために、自分の生活のために子どもを産まないというようなことはけしからんというような形で子どもを産んでくれというような形があり
20	00	06	30	そのいずれでもなく、最初の方は大事だと思うんですが、子育て支援としてはですね。
21	00	06	38	もうひとつ大事なものは、やだなーという、最後は自己決定だと思いますが、それはそれである程度仕方ないのかも知れませんが、それよりは私たちが考えるべきは、少子高齢化社会において、こういう能力さえ身につけば、例えば、こういうところを知っている、こういう態度が取れる、こういうことができる、知識、技能、態度が身につけば自分だって出産の自己決定ができるというふうなことがあると思うんですね。
22	00	07	19	それを整理して、そういう能力が身につくように、国や大学が支援することが、自己決定の支援とうのでしょうか、自己決定ができる力を身につけさせるということですね。
23	00	07	39	この辺、クドバスの良いところのひとつだと思うんですが、社会に貢献しなさいと言って、相手側に学習側に呼びかけても、なんとなく押し付けに聞こえるし、なんか上っ面のように、心に響いてこない、
24	00	08	15	ところが、社会参加にはこういう能力が必要で、こういう能力を身につけたいと思いませんかといわれると、身につけたいという能力はまともな能力で、説教などを受けるよりも説得力があるのではないかと思います。
25	00	08	33	ということで、こういう能力を身に付けると、その上で、能力を身に付けた上で、やはり私は子どもを産まないで一生過ごそうと思うのであれば、それはそれでいいのかなと思うんですね。
26	00	08	51	自己決定能力があった上で、どちらかを決定するということが大事なのではないでしょうか。
27	00	08	57	ということで、クドバス、正式に言うと、簡単に言うと出産自己決定支援です。情報、相談、教育プログラムいずれにも使えるような能力リストを作りましょう。教育プログラムの提供、これが目的のために、今作るのは能力リ
28	00	10	57	それでは、どうしますかね。前提、まず、未婚の母みたいな感じを1回外しちゃおうかなと思っていますが、考えてきたのは。
29	00	11	12	未婚の母で出産の能力という、自己決定というのかなり難し過ぎるかなと思って、どうしますかね。前提として考えるときに。
30	00	11	25	自分が出産を自己決定するとしたら、どんな能力が必要か、しかも未婚で、結婚しないまま未婚の母になると大変かなと思って。
31	00	11	36	学生A:それはちょっと嫌。
32	00	11	37	西村教授:既婚前提で、結婚して夫と協力しながら子育てするということに配慮が向かうようなためにはどんな能力が必要かにしましょう。
33	00	12	02	それで、職業はどうする。専業主婦みたいに決めちゃうか、それとも働きながら。
34	00	12	26	学生A:専業主婦
35	00	12	27	西村教授:専業主婦で決める。どうですか。なんで。
36	00	12	34	学生B:働いていると、難しそう
37	00	12	40	西村教授:働いていると、働きながら、保育園の情報とかそういうことを知っていないといけないんだけど、それを1回外してみましようか。専業主婦
38	00	12	53	学生C:専業主婦になりたい。
39	00	12	55	西村教授:あっ、そうなの。働きたいから大学に来ているんじゃないの。違うんだ。専業主婦の方がどうしていいんだろう。
40	00	13	16	学生D:働きたい。収入がちゃんと安定してあるのなら、働かないで家で。
41	00	13	25	西村教授:家でなにをしたいの。
42	00	13	29	学生D:家を守っていたい。家の掃除とか家事とかなら自分でもできるんじゃないかと。仕事だと逆にストレスとかたまって★(不明)
43	00	13	43	学生E:ならないよ。
44	00	13	45	西村教授:まあ、人によって違うのかもわかんないけどね、
45	00	13	52	学生F:でも専業主婦だからといろいろ役員を押し付けられるらしい。

	46	00	13	58	西村教授:それはそれで押し付けられるのもあるし、専業主婦をあえてやって、だんなにはご苦労様と言いつつ、自分ではボランティア活動をする人もいるけどね。
	47	00	14	10	そういう人知っているんだ。だんなさんのほうを知っているんだけどね。
	48	00	14	16	ある意味仕事だけだね。収入がないから、収入がないと困るから、それは夫がやっている。
	49	00	14	21	学生B:パート、バイト。
	50	00	14	24	西村教授:パート、バイトはまた意味が違うな。パート、バイトだって職業でしょう。
	51	00	14	33	学生B:パート、バイトしている人は専業主婦とは言わないんですか
	52	00	14	36	西村教授:言わない。
	53	00	14	37	学生B:なんだ。
	54	00	14	44	西村教授:いいだろう、パート、バイトは入れよう。
	55	00	14	55	主婦っていうのは忙しいよ。許されるものにも、それよりも自己決定だよ。自己決定だねそこのところは。専業主婦、パート、バイト、可、ではなくて含むにしよう。
	56	00	15	16	よし、これで行くか。後決めなくてはいけないことあるかな。
	57	00	15	23	学生C:年齢とかは。
	58	00	15	25	西村教授:年齢は20台にしておくか。20代後半ぐらい。あなたが20代後半で出産。
	59	00	15	36	学生C:もっと早くがいい。
	60	00	15	44	西村教授:20代出産にしておこう。20代にしておこう。
	61	00	16	00	夫は会社員ね。実業家でパンパン何億も稼ぐみたい人ではない。これで行きましようか。10枚以上だね。
自己内対話時間	62	00	17	36	学生D:10枚以上も書くの。
	63	00	17	37	西村教授:そうです。だからあまり大きな書き方でなくて、具体的に書いたほうがいいみたい。
	64	00	17	47	産もうとする態度が取れるなんていうのは、大きく書きちゃうとそれだけ終わっちゃうもんな。
	65	00	19	50	学生C:どんなことを書いたらいいんですか。
	66	00	20	00	西村教授:良い産婦人科医を知っているとか。
	67	00	20	05	学生C:出産にまつわること。
	68	00	20	07	西村教授:そうだね。知っていないと安心ができませんよ。
	69	00	20	14	学生C:★(不明)
	70	00	20	18	西村教授:関係があるのなら書いていいけど、関係ないように思うけど、どうして。料理が上手くできるとどうなんだ。
	71	00	20	26	学生B:栄養とか分かるから。
	72	00	20	27	西村教授:そうか、はい、はい。それは凄いいんじゃない。
	73	00	20	34	でも、具体的に書いてほうがいいね。子供の成長に良い料理のしかたを、良い料理をすることができるみたいなの、そんなふうに書いてください。
	74	00	22	08	学生A:先生、これはおなかに居るときのことですか。
	75	00	22	12	西村教授:うん、両方。いる前も。
	76	00	23	36	学生C:先生、何々しているとか
	77	00	23	40	西村教授:駄目だ。能力だから何々することができる。それから、知っている。それから、何々の態度を取ることができる。その3つで書かないとあいまいになっちゃうんだよね。
	78	00	23	45	学生C:何々することができる。
	79	00	24	01	西村教授:何々することができるだろう、飛ぶことができるとかそういうやつね。それから、何々を知っている。知識、知っている。それから、何々の態度を取れる。取ることができる。こういう態度を取ることができる。
	80	00	24	25	結局、これ、教育目標の書き方なんです。学校でもそうなんですけど、この3つなんです。教育目標はそういうふうには書けばきちんと書けるんです。そういうところに到達させますよという、相手を。
	81	00	27	17	僕が書いているのがいかにがなものかと思うむきもあるかも知れませんが、実はクドバスはいろんな視点から、人から集まったものの方が良いものになるといいます。ですから、良いのかも知れません。

	82	00	31	10	仕事カード1枚分ぐらい外して、こっち側に並べてください。
	83	00	32	25	僕が想像して書いたのはこういうことです。妊娠やシステムについて知っている。妊娠や出産に関する病気について知っている。自分や相手の病気に立ち向かう態度がとれる。自分の夫や親に応援を頼むことができる。出産に関する補助金を知っている。子供ができて家計をやりくりすることができる。妊娠を望まないときは避妊するよう夫にお願いすることができる。
	84	00	32	56	これは、同じようなもので、もちろん僕のカードとはいえ、上にかぶせちゃっていいです。じゃ、どうぞお願いします。
	85	00	33	12	表札カードは黒枠で囲ってください。
	86	00	33	16	学生D: 表札
	87	00	33	20	西村教授: 表札というのは、表札じゃない、仕事カード。
	88	00	36	07	何でこっち側にきちゃったんだ。この辺から初めて、せめてこの辺から初めて。どうせ並び替えるだろう。優先順位に、上下の優先順位を決めちゃおう
	89	00	36	29	それから枠を作って、何々をするというカードを、仕事カードを作って。
	90	00	38	18	夫婦喧嘩をしないで仲良くする。夫との連携をとることができるは意味が違うか、協力と仲良く違うか。そうすると、夫は近くに良い公園を知っているというのは、夫婦喧嘩と関係があるの。
	91	00	38	38	学生D: 関係ない。
	92	00	38	40	西村教授: そこ、考えよう。夫と仲良くするという仕事だとすると、近くに良い公園を知っているはなんだろうね。
	93	00	38	53	学生D: 情報を得る。
	94	00	38	54	西村教授: 情報を得る。地域で暮らすかな、地域で暮らすというのも良いかも分からないね。それも、書いてね。
	95	00	39	29	それで、便がいいとか、公園を知っていると、その辺り。
	96	00	39	52	舅、姑と仲良くできるというのは別に作っておこう。
	97	00	40	04	学生A: ★(不明)
	98	00	40	06	西村教授: それが仕事カードになります。仕事カード、みんな作ってね。
	99	00	41	21	希望か、そうか。自分の親にしない。お父さんにもおじいちゃんにも手伝ってもらうことができるでしょう。自分の親にということ、舅、姑と上手くやっていくという。
	100	00	41	38	親は特に頼むことはできるだろう。夫の親は止めた。確かに夫の親に頼むというのは難しいなと思って。
	101	00	41	49	だから、それで、僕はこれを追加したの。これを自分の親にしちゃって、自分の親に協力してもらおうと、舅、姑とうまくやっていくのと、場合によっては協力もしてくれると思うけど。
	102	00	42	08	どうなんだろうね。やっぱり一番やりやすいのは自分の親なんだろうね。頼むのは、でも、親って嫌がるよ。結構、疲れるんだよ、年をとると。
	103	00	42	16	学生B: 舅、姑に頼まなくちゃいけないけど、頼むの★(不明)
	104	00	42	23	西村教授: そうだよな。だから上手くやっていくぐらいの。おばあちゃんが、夫のおばあちゃんが熱心な場合もそれはそれで、自分の親だったら協力してもらおうということで済んでしまうけど、夫の親の場合はやり方についてもあまり文句言えないしね。そうすると、違う問題だよな。自分の親に協力してもらおうのとは。
	105	00	43	00	問題じゃない。必要な知識も違う。
対他者協働時間	106	00	43	05	お金の問題というか、お金を上手くやるとか、そういうふうに、つまり動詞。分かる？問題とかいうと名詞になるから、仕事カードの場合は何々するにしてください。お金を上手くやるとか
	107	00	43	27	学生B: お金を管理するとか。
	108	00	43	30	西村教授: お金を管理するか。仕事カードはお金を管理する。お金を管理する、大事だね。
	109	00	43	55	これ、夫との関係でいいんじゃない。親や夫と上手くやっていく。
	110	00	44	20	協力するね。周り協力するね。周りの人という地域の人も入っちゃうよ
	111	00	44	42	学生B: 身の回りの人
	112	00	44	44	西村教授: 身の回りの人という、地域の隣人なんていうのは入らないか。
	113	00	44	55	学生B: 入らない。

	114	00	45	05	西村教授: 夫と協力するというのと、親の協力を頼むのとは違うね、考えてみれば。夫とは協力して子育てするんだよな。親には協力してもらって子育ての手伝いをしてもらうわけだな。夫や親と協力するでいいか。
	115	00	46	06	夫婦喧嘩しないで仲良くするは上でいいんじゃない。
	116	00	46	12	情緒が安定していることができるというのは、それに役立つのだろうな。夫や親と協力するに。
	117	00	46	20	学生D: ★(不明)
	118	00	46	24	西村教授: 優先順位、後で決めよう。とにかく入れていったら、順番は最後調整するから。
	119	00	46	37	決断力があるは、決断することができるって書いた人誰。
	120	00	46	44	じゃ、何々の場合はを入れたほうがいいな。何を決断するの。迷っても決断することができるにする。不安でも決断することができる。情報を得る。出産に必要な情報を得る。得ると仕事カード。
	121	00	47	45	出産に必要な情報を得るために必要な能力というのは、妊娠のシステムについて知っている。胎教について知っている。こういう能力かな。
	122	00	47	57	学生B: 体調管理
	123	00	47	59	西村教授: 体調を管理するね。子育てするか。子育てするという仕事に必要な能力だろう。出産自己決定に必要な能力。で、既婚、専業主婦、パート、バイト含む。20代、夫は普通の会社員の場合にどうしたら出産を自己決定できるか。どういう能力があるか。結局考えたんだけど、出産自己決定支援情報システムだね、これで作れるのは。
	124	00	49	16	もし、眺めてみて、違うカードがあれば、ここに書かれていないカードがあれば急いで書いて追加してください。そろそろ並べ替えをしますよ。
	125	00	50	48	確かに出産を自己決定するのは重要だろうけど、考えてみるとベタなんだよね、この表現って。これをするためには、決断することができるためにはどんな能力が必要かと言っているのに、決断することができるって書いたから、だからかなり次元が大きすぎるんだよな。あるいは、これに関係しているのかな。どう。出産の決断って何なの、結局。
	126	00	51	38	優先順位それでいいの。最後のチェックは分担してやって貰いましょう。
	127	00	51	45	A, B, C, で分けるので、A, B, C, の境目もいってください。
	128	00	51	55	Aが非常に重要で詳細に知っているかよくできる必要がある。
	129	00	51	59	Bが普通であって一般に知っているか、普通にできればよい。
	130	00	52	03	Cはあまり重要でなく概略をしっているか体験していれば良いということろで線を引いてください。
	131	00	52	16	2人が上3つ、2人が下3つ、で、あなたは今来たから全体を管理して。上下の順はこれでいい。
	132	00	52	49	重要順だよ。時系列といって、時の順番じゃなくて、重要な順番。とにかく一番重要なのは何か。自分が出産しようと思うために一番重要なのは何。
	133	00	53	39	学生C: 出産に必要な情報を得て
	134	00	53	40	西村教授: 得るのが一番重要な。
	135	00	53	50	子供を産むのはしんどいなという不安があるわけでしょう。だから、みんな少子化になっていくし、子供を産まない夫婦もできてくるわけだよな。その時に子供を生むということを決断するために能力で一番重要なのは、情報
	136	00	54	12	学生C: 夫の親と協力する。
	137	00	54	24	西村教授: 協力が得られなくても、親とね。夫と親とを一緒にしたからいけないのかな。夫と協力しないまま、子供を生むのはあまりにも辛いよね。
	138	00	54	37	親がもしも協力を得られなくても、2人で頑張ればやっていけるだろうから
	139	00	54	44	夫や親と協力するにしておいて、親の方はB, Cにしちゃってもいいよ。じゃ、順番を付けちゃおうか。
	140	00	55	09	それで、これは2行にしましょう。いいのかな。夫や親が協力するで。
	141	00	55	18	学生C: 1番の。
教師	142	00	55	22	西村教授: 自分が子どもを産むと決断するために必要なのは、協力する力、夫と。専業主婦していて結婚しているんだよ。協力を求める、協力しあ
	143	00	55	47	産みたい人がお金を必要な能力というのは違うかもわからないけどね。

土導型まとめの時間

144	00	55	55	今は出産自己決定、つまり、いろいろこの世の中子供を産むと不安とか、心配もあるけれど、でもあえて決断して産むんだと決めるためににどんな能力が必要か、こういうふうに考えて、あなたは子供を産もうと思っている
145	00	56	23	その人は優先順位が違うかもわからない。ここではむしろ迷いを断ち切って、よし、産んで育てようという重大決心をするために必要な能力。
146	00	56	37	それから、さっきから言っている少子高齢化社会で子供を若い女の人に産むように教育しないといけないという問題ではなくて、本人が自己決定するためにはどんな能力が必要かということをやってもらっているんだね。
147	00	57	00	お金を管理するは2番にしようか。
148	00	57	12	学生D: 出産を決断するにあたってですよ。
149	00	57	14	西村教授: そうです。
150	00	57	20	学生D: 協力してもらえない人がいたら、協力してもらえない人がいなかったら、出産という形をとれない。おろすというほうにいつちゃうと思うんですよ
151	00	57	32	夫でも親でも誰かが傍にいてくれる人がいれば。
152	00	57	51	学生B: そういう人を雇うという考えもあるよ。
153	00	57	57	西村教授: マドンナみたいな。マドンナって子育てしているのかな。
154	00	58	16	じゃ、チェックしておいて。
155	00	58	24	これは、1, 2, 3, 4, 5, 6, 6列ね。エクセルでいうと6列。
156	00	58	41	今度検討することにして、取りあえずカードの優先順位を2人で3つ、3人で3つでいいや。3人で3つ見て、2人で3つ見て、今日はここまででいいで
157	00	59	05	A, B, C, だ。A, B, Cつけちゃって。
158	00	59	38	夫が一定の収入を得ることができるというのは、おかしいな。だって、これ女性にとっての、既婚の専業主婦にとっての必要な能力でしょう。
159	00	59	52	だから、一定の収入を得ることができるような夫をゲットすることができるだろうな。
160	00	59	58	学生D: ★(不明)
161	01	00	03	西村教授: 一定の収入を得ることができるようコントロールできる。
162	01	00	07	学生B: リストラされないよに。
163	01	00	10	西村教授: 例えば、もう嫌になって辞めちゃわないように励ますことができるとか、そういうふうに変えよう、言い方を。
164	01	00	19	あるいは、そういう夫を選ぶことができるとか、恋に走らずに、出産のためには出産できるような、支えてくれることのできるような収入のある夫と結婚することができるとか、確かに重要だけど、夫がリストラされないようには難しい、もしかしたらリストラされるかもわからないけど、夫が仕事を辞めないように励ますことができるぐらいにしておかない。ちょっと書き換え
165	01	01	05	学生A: もう一回
166	01	01	07	西村教授: 夫が仕事を辞めないように励ますことができる。
167	01	01	13	学生D: 辞めないのが当たりまえなのは。
168	01	01	17	西村教授: そうはいかないよ。それは、仕事辞めなくなっちゃったと言い出すかもわからないよ。
169	01	01	23	学生D: 夫が。
170	01	01	25	西村教授: うん。夫が仕事を辞めないように励ますことができる。出産に必要な情報を得るが気になるけどね。今度やるか。
171	01	01	48	で、A, B, Cは難しい。
172	01	02	41	育児に関する相談窓口を知っているが、何で子育てに必要な情報を得るに入らないかと言うと、仕事カードがちょっとおかしいね。そう思わない? 作り方が。
173	01	03	03	情報を得ると言う仕事と言うのは、何かの仕事をするために情報を得ると言う仕事があるので、付随、おまけで付いている、付随して付いてくることで、何か違うのかも分からないね。

	174	01	03	21	お金を管理するとか、夫や親と協力するというのは分かるけど、体調を管理するとか、地域で暮らすはちょっと微妙かも分からないけど、情報を得るというのは仕事としては何かの仕事をするために情報を得るために仕事をするという、大もとの方の何かの仕事をするという方を考えないといけないかも知れません。ちょっと難しいかも分からないので、冷静になって、今度みんなで、これ持って帰って、眺めて、なにかいいあれがあったら組み換えすることにしましょう。今日は、ここまでにしましょう。
--	-----	----	----	----	--